

各 位

会 社 名 株 式 会 社 さ い か 屋  
 代 表 者 名 取締役社長兼社長執行役員 山野井 輝夫  
 (コード番号 8254 東証スタンダード市場)  
 問 合 せ 先 取締役執行役員 村田 功治  
 (TEL. 046-845-6803)  
 当社の親会社 株 式 会 社 AFC-H D アムスライフサイエンス  
 代 表 者 名 代表取締役会長 浅山 雄彦  
 (コード番号 2927 東証スタンダード市場)

## 個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきましては公表を行なっておりませんが、2022年2月期の個別業績につきまして、前年実績値との差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 個別業績の前年実績値との差異について

2022年2月期通期個別実績の前年実績値との差異(2021年3月1日～2022年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年実績(A) (2021年2月期)	百万円 14,988	百万円 △615	百万円 △716	百万円 △829	円 銭 △268.85
当期実績(B) (2022年2月期)	13,800	△351	△467	△511	△109.96
増 減 額 (B-A)	△1,187	264	248	318	—
増 減 率 (%)	△7.9	—	—	—	—

## 2. 差異の理由

当期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、まん延防止重点措置及び緊急事態宣言の発出により外出自粛期間が長期にわたり消費マインドの持ち直しが遅れていることや、横須賀店の売り場面積の縮小などにより、売上高は前年実績を下回る結果となりました。

こうしたなか、藤沢店では、国内で進むキャッシュレス化への対応として2021年5月26日より国内6ブランドの「コード決済サービス」を導入しお客様の利便性向上に努めたほか、同年9月30日の緊急事態宣言解除以降、オケーション需要の高い服飾雑貨・衣料品の売上高が回復基調となったことから、同店の売上高は年間を通して前年実績を上回りました。横須賀店は、2021年2月26日に一旦閉店致しましたが、同年3月6日に「SAIKAYA YOKOSUKASHOPPING PLAZA」としてリニューアルオープンしました。また、同年5月17日より5階・6階フロアをコロナワクチンの集団接種会場として提供したことにより接種期間において入店客数が増加し、ワクチン接種を受けられた方への特別サービスの提供をおこないました。さらに、2021年10月20日に「娯楽の殿堂 さいか屋 e STAGE」、「美と健康ショップ サロン・ド・AFC」、「100円ショップ Seria(セリア)」を新規オープンするなど、お客様のニーズに対応するための前向きな出店・投資を積極的におこない、集客の確保に尽力しました。

費用面におきましてはローコストオペレーションを推進し、各種経費の削減と合理化に努めるとともに、前年度に実施した希望退職に伴う人件費の減少も加わったこともあり、販売費及び一般管理費は前年実績対比86.8%となりました。更に、既存金融機関からの借入金を親会社である株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンスからの借入に切り替えたことより支払利息の大幅な削減が実現しました。

この結果、前年実績と比べ、売上高は92.1%の減収となりましたが、営業損失、経常損失、当期純損失は2021年2月期よりも改善しました。

以 上